

(第3種郵便物認可)

「石島＝独島」否定の記述

100年前の韓国紙掲載 兵庫の男性公開

現在の所在地と大幅ずれ

日韓両国が領有権を主張する竹島(韓国名・独島)をめぐる、韓国側の主張が崩れかねない韓国の史料が、島根県が定めた二十二日の「竹島の日」を前に、竹島問題を研究する兵庫県在住の男性会社員(33)によって公開された。専門家も注目している。(27面に関連記事)

鬱陵島の配置顛末

きょう3度目「竹島の日」

統監府에서 내부에 公函을 되 江原道 三陟郡管下에 所在 鬱陵島에 所屬 島嶼 外 郡廳 設始 年月을 示明을 來 故 呈 答 函을 되 光武 二年 五月 二十日 鬱陵島監으로 設始을 來다 가 光武 四年 十月 廿五日에 政府會議을 標田을 守 衛 守 衛 軍을 派 遣 守 衛 島 嶼 在 在 且 該 郡 所 管 島 嶼 石 島 東 西 六 十 里 南 北 四 十 五 里 合 一 百 餘 里 也 且 守 衛 島 嶼 也 鬱陵島が鬱島郡へ昇格した経緯を記載した1906年7月13日付の皇城新聞。波線部分が郡の範囲を示した記述



現在の鬱陵島周辺図
鬱陵島、竹島、石島、觀音島、竹嶼

史料は大韓帝国時代の「皇城新聞」の一九〇六年七月十三日付の記事。日本が竹島を島根県へ編入した五年前の一九〇〇年に大韓帝国政府が出し、石島が独島とする韓国側の主張の根拠になっている勅令で、韓国・鬱陵島を鬱島郡へ昇格した経緯が書かれている。記事は「郡所管の島は鬱陵島と竹島(チクトウ)現在の竹嶼」と石島。東西六十里、南北四十五里

クリック
石島(チクトウ) 日韓併合前の大韓帝国政府が1900年に出した勅令第41号で鬱陵島を鬱島郡へ昇格する際、行政区域を「鬱陵島と竹島と石島」としている。韓国の一里は〇・四キロで、東西二十四キロ、南北十六キロ。現在の竹島は鬱陵島の南東九十二キロで、数字が郡の範囲を示すものとすれば、韓国側の主張は崩れる。男性会社員は「石島の所在位置を示す史料はこれしかなく、石島と竹島が別なのは明白」と指摘。「数字は鬱陵島を指したものの」との韓国側の反論を想定し、「記事は鬱陵島について記してなく、郡の範囲を示したものとみるのが妥当」とした。記事が触れている数字は、鬱陵島の大きさの東西十キロ、南北九・五キロとも異なることから、たとえ韓国側が鬱陵島を指したものと主張してきても、説得力を欠くことになりそうだ。

定めた。日本側が現在の竹島を島根県へ編入した1905年より早いうちに、授は「興味深い内容」と評価。副座長だった杉原隆・島根県竹島研究顧問も「主張の正当性が実証された」と述べた。男性会社員は「杉野洋明」の名前で、自らのインターネット上に研究成果を公開している。